

Press Release(R1/10/2)

岐阜市×岐阜大学 地域課題解決型演習授業の岐阜市長報告 ～岐阜大学生と岐阜市職員がコラボした地域の課題解決策を岐阜市長に提案します～

2019年度前期（4月～7月）に、岐阜大学工学部社会基盤工学科環境コース3年生の「環境デザイン」という授業にて、岐阜大学生18名が3チームに分かれ、岐阜市職員の協力の下、岐阜市の地域課題に対するPBL（Project Based Learning）に取り組んだ成果を岐阜市長に報告します。

ついては、取材についてよろしくお取り計らい願います。

1. 取材希望日時・場所

日時：令和元年10月3日（木）13:30～14:30

場所：全学共通教育棟 コモンズ1A

2. PBLの概要

「地域公共交通」、「地区防災」、「空き家対策」の3チーム（6名ずつ）に分かれてPBLに取り組んだ。本PBLは、岐阜市職員研修との協働プロジェクトとして、昨年10月に岐阜市職員から公募の上3名を選考。12～3月に計4回の打合せを行い、学生達と取り組む課題を詰めて、4月に学生達に提示。4～7月に学生が岐阜市職員の協力の下、現状や背景の理解、現地調査、先進事例調査を経て、企画提案を2度ブラッシュアップし、10月3日の市長報告に臨みます。

3. 各チームの提案概要

(1) 地域公共交通チーム「市民のニーズに合った持続性の高い地域公共交通について」

郊外団地にデマンド交通の導入+3つの既存コミュニティバスルート統合再編を提案

(2) 自助チーム「自助の実践による防災力の向上」

自助を実践しやすい制度・体制「防災サポーター」+防災意識の向上策「防災フェスタ」を提案

(3) Team 空き家「空き家の多様な活用の仕組みの構築」

郊外団地の空き家に対して、所有より利活用を促進し、地域住民が参加したいと思えるアイデアの提案

【問合せ先】

岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授 高木朗義

TEL : 058-293-2445

E-mail : a_takagi@gifu-u.ac.jp